

登録コード	F3D53830	開講年度	2026				
授業科目	応用生物特別講義					担当教員	宇野 雄一
英文授業名	Topics in Applied Biology					副担当	林田 信明
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	応用生物科学科 3年
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 4 Fカリ・応用生物, 2 3 Fカリ・応用生物, 2 2 Fカリ						
	生物の詳細な構造・構成成分・機能についての基礎学力				農作物の生物学的な基本的性質を身につけ、そこから導かれる農業上重要となる特質について理解できるようになる。		
	生物科学の応用に際して直面する課題を理解し、自立して問題解決の方法を探す能力				生物科学の応用としての作物の品種改良から、農業の現場で働くことの実態までを理解できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	神戸大学農学部宇野 雄一 教授をお招きして、様々な作物を育て収穫する産業である農業を科学的側面から概説していただく。農学の中でも、応用生物科学科のカリキュラムではフォローしきれていない部分を補完する知識が得られる。						
(5)授業計画	集中講義を、9月24日（木）、25日（金）に実施する。 9月24日（木） （１）野菜と花卉を材料にした農学について （２）野菜と花卉を材料にした農学について （３）野菜と花卉を材料にした農学について （４）野菜と花卉を材料にした農学について （南相木村のイチゴ農園と中継を繋いで、農業の実態を学ぶ） 9月25日（金） （１）野菜と花卉を材料にした農学について （２）野菜と花卉を材料にした農学について （３）野菜と花卉を材料にした農学について まとめ・試験						
(6)成績評価の方法	100点満点中、試験に80点を配点する。課題の提出状況、授業に対する姿勢を加味し、総合的に判断して最終評価する。第一回の冒頭で、詳しく評価方法を説明する						
(7)成績評価の基準	可 講義内容が最低限理解できていれば「その水準にある」 良 講義内容が理解できていれば「やや上にある」 優 講義内容から今後の課題が明確となっていれば「かなり上にある」 秀 講義内容から今後の課題およびそれを解決するための十分な考えがあれば「卓越している」とする。						
(8)事前事後学習の内容	この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	講義に集中し、提示された情報をその場でまとめてノートを取り、十分に身につけた上で試験に臨んで下さい。すでに植物生理学等の科目を履修していると理解の助けになります。						
(10)質問,相談への対応	メールにて、主担当の林田（nobuaki@shinshu-u.ac.jp）、あるいは副担当の小笠原（hogasawara@shinshu-u.ac.jp）まで相談してください。						
(11)学生へのメッセージ	公務員試験等で、「農学」の試験科目の準備に役立つ入門編として企画しました。						
(12)その他	講義中に、実際に農業に携わっているゲストスピーカーと中継で繋いで、お話を聞きます。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】							